



「外国語のすゝめ」



九州大学大学院言語文化研究院

Faculty of Languages and Cultures, Kyushu University



総長から新入生のみなさんへ

九州大学に入学した皆さんが、世界において指導的な役割を果たし、広く活躍できるグローバル人材に育つことを私は願っています。皆さんは直接海外に出て行ったり、インターネットやSNSなどの伝達手段を通じて世界中の人々と交流を図ったり、世界各地の人々を日本に迎えたりすることが多くなると思います。このような場合では、外国語、特に英語によるしっかりしたコミュニケーションの力が不可欠です。

皆さんの多くは大学受験のために英語の学習に励んできたことと思います。現在は、グローバル化が急速に進んできています。英語でのコミュニケーションやプレゼンテーションの力が求められています。若いときは頭脳が柔軟であり、吸収力も速いので、それらの力をさらに向上させてください。専門の学習を深め、就職や大学院へ進んでいくときにも英語力が必要です。

ところで、九州大学に来た留学生は日本語の勉強に励んでおり、多くの留学生が英語も十分に使うことができます。母語と日本語と英語という3言語を使うことができるのです。世界に開かれた大学や社会で活躍するには、母語と英語に加えてもう一つ外国語ができることが望まれます。新入生の皆さんも留学生と交流して、是非、英語以外の新しい言語に挑戦し、自分の世界を広げてください。

ことばは文化と密接に結びついています。外国語を学ぶということは、異文化を体験し、コミュニケーションの手段を手に入れ、異国の文化に対する理解をさらに深めることです。また、言語は思考の媒体でもありますので、異なる言語を習得することは、新しい思考回路を手に入れることにもつながります。このことにより、新たな発想で創造性を高めていくことができるでしょう。外国語学習により異なる文化に触れることは、皆さんの人間性を豊かにしていくことにもなります。

九州大学では、言語文化研究院を中心に大学全体で皆さんの外国語学習のために多様な機会を提供しています。現在、九州大学は、海外の24ヶ国112



九州大学 総長 久保 千春

機関と大学間学生交流協定を締結しており、102カ国・地域から約2,300人の留学生が在籍しています。2010年には英語による授業のみで学士の学位が取得できる国際コースを設置しています。また、JTWやJLCCなどの短期留学プログラムもあり、留学生を中心にした大規模な秋季入学式を実施するなど教育の国際化を進めています。また九州大学の学生が海外研修を体験できるプログラムもいろいろあります。研究面や大学の運営体制においても国際化が進んでおり、九州大学として、今後も更なる国際化を推し進めていきます。

このグローバル化の時代において、皆さんが積極的に交換留学に参加し、海外での経験を積むことにより、国際性豊かな人材に育って欲しいと強く願っています。大学としても、今後もさらに充実した学習環境を整備していきます。皆さんはこの資源を十分に活用し、外国語の学習等を通じて新たな文化の扉を開け、新しい思考の道筋を開き、世界へ、未来へ羽ばたいてください。

やがて来る出航をめざして：外国語が持つ力

新入生の皆さん、御入学おめでとうございます。これまで目標とする大学に向かって勉強に励まれたと思います。では大学入学後の学業の目的は何でしょうか。受験までの勉強は、社会への船出を前に渡海の基本を学び、船を作り動力を得る期間だったのに対し、大学では最後に何を積み込み、港を出たらどの速度でどの方向へ進むのか考えなくてはなりません。幸い九州大学には様々な専門家がいて、学びの中で多くのヒントを得ることができます。

その専門家の中で、私たち言語文化研究院の教員は、言語、文化、文芸、思想、コミュニケーション、外国語学習、歴史、ジェンダー等の研究者であり、基幹教育では英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、韓国語、スペイン語を担当しています。

日本は複数の言語が日常的に飛び交い、誰もが複数の言語を操って生活する言語圏とは言えず、その中で育った方々が後から学校教育の中で日本語以外の言語の勉強を深めていくのは負担が大きいですね。しかし外国との行き来がこんなに容易になり、日本が多文化社会に変容していく現在、外国語の習得が皆さんの人生にプラスになることは間違いありません。入学までにほとんどの方が勉強してきた英語はもちろん、九州大学では初修外国語と呼ばれる言語は、自分の文化圏以外への誘いとなる重要な存在です。外国語の習得は、広い世界へと開かれる窓です。

但し、皆さんは大学への進学を選択しました。言うまでもなく、大学は専門分野を真摯に追究する場であり、九州大学は博士課程まで充実したプログラムを備える巨大な総合大学です。従って、皆さんの履修する言語文化科目には、学術を深めることに資するという重要な目的が含まれています。どの言語を履修する場合でも、研究で使用するツールとして、あるいは物事を考える枠組みとしての学修という側面があることを忘れないでください。

最近では外国語学習というと、スピーキングやライティングといったアウトプットも重視されています。研究に



言語文化研究院長 鈴木 右文

は発表の場としての論文作成や学会発表が伴いますので、文献を読み解く力や基礎的聴解力のほか、学術論文誌にアクセプトされる適切な文章が書けること、質疑応答に必要な議論の力などが求められています。決して日常会話や海外のペンフレンドとのやりとりが目的なのではありません。それなら市井の〇〇語塾で訓練することができます。

また、外国語習得には時間がかかります。授業時間だけで見違えるようにはなりません。予習復習に力を入れること、外国語の授業があるうちに学習方法を確立して卒業まで自学することが極めて重要です。

そして、英語はもはや出来て当たり前の存在と見なされています。英語に力を入れる他、九大卒業生は社会においてそれ以外のどの外国語が出来るかが勝負となります。頑張って異文化への窓を開いていってください。

外国語ができるとどれだけ人生が変わり世界が違って見えるか。言語文化科目担当教員はそのことを身をもって知っています。学術の発展と世界平和への貢献を、御自身と次の世代のためによりしく御願います。



外国語紹介

英語

皆さん方の中には、英語の読解力や文法力はあるが、英語を聞いて話すことが苦手だと思っている人がいるかもしれません。しかしながら、TOEFL、TOEICをはじめとする検定試験を受けた学生のスコアを見てみると、読解力や文法力の方が聞き取りの力より高いとはいいがたいというのが、このところの傾向です。それどころか、読解力や文法力の方が、聞き取りの力よりも劣っている場合も少なくないのです。

読解力が必要な例として、インターネットを考えてみましょう。インターネットによる情報量は、かなりのものですが、英文で書かれたインターネットの内容を使いこなすためには、正確な読解力を必要としますし、自ら情報を発信しようとする場合には、作文力が必要なのは言うまでもないでしょう。また、正確な読解力、作文力は、語彙力、文法力に裏打ちされていなければ成り立ちえません。また、皆さん方が、近い将来接することになる専門分野の書物や論文、職業上必要な文献や書類などについても、正確な読みが必要とされるのは言うまでもありません。

もちろん、英語が言葉である限り、読み、書き、聞き、話すという4つの技能をバランスよく身につける必要があります。また、それら4つの技能は、それぞれ独立したのではなく、互いに密接に関係し合っています。たとえば、国際学会で英語で発表する場合、発表に対して英語で質問がなされます。その質問を理解するためには、英語の音を聞き取るという単純なリスニングの力だけでは不十分です。英語で発せられた質問の内容を正確に理解するためには、その英語の内容を理解する読解力が必要なのです。また、質問に正確に回答するためには、話す力が必要ですが、英語らしい発音や会話の決まり文句を覚えただけでは、不十分なことは自明のことでしょう。つまり、自分の言いたいことを英語で正確に伝えるためには、十分な語彙力と構文を組み立てる文法力、そして、英語の論理構造に対する知識に裏打ちされた作文力が必要なのです。

それから最後に一言。英語の発祥の地イギリスは、文豪シェイクスピアを生んだ国です。『不思議の国のアリス』や『くまのプーさん』もイギリス生まれです。また、アメリカをはじめとする他の英語圏の国々にも優れた文学や文化があります。コミュニケーションのためには、言葉だけでなく、文化的な知識も不可欠です。ぜひ、英語圏の国々の文化的な側面にも触れてみてください。



ドイツ語

ドイツ語は西ゲルマン語に属する言語で、英語とは兄弟の関係にあります。ドイツ、オーストリア、スイス、リヒテンシュタイン、ルクセンブルクの公用語になっているほか、東欧諸国のかかなりの地域でも話されており、ヨーロッパでは最大の約1億2千万の使用人口をもちます。私たちの学ぶ「標準ドイツ語」は、ルターへの聖書翻訳や印刷術の普及をきっかけに成立し、ゲーテやシラー、グリム兄弟らの努力によりできあがった、一つの歴史的・文化的作品といえるものです。

ドイツ語には、18世紀後半から20世紀にかけ、自然科学・社会科学・人文科学・芸術の各分野で世界をリードした人々の遺産が、豊富に蓄積されています。その文献が直接読めるようになることは、表面的でなく本格的に学問に取り組もうとする皆さんにとって、はかり知れない意味をもつでしょう。

しかし、現在のドイツ（1990年に東西ドイツが再統合）は、むしろEUにおける政治・経済の中心として、また先進的な環境政策・社会福祉政策をもつ国、サッカーが強い国として知られています。ドイツ語を学ぶことは、これらの分野の最新情報に触れる格好な機会ともなります。

では、そのドイツ語とはどんな言語なのでしょう。単語は英語とよく似たものが多くあります。でも、英語に比べ、つづりと発音の関係はずっと簡単です。母音 a/i/u/e/o はローマ字式に「アイウエオ」と読めばよく、英語の cat, cake, call に含まれる a のように単語によって異なる読み方をすることはありません。一方、文法は、動詞や名詞・形容詞の語形変化があつて、最初のうちは少しとまどうかもしれません。しかし、最初の数か月がんばって基礎をマスターすれば、最初は難関と見えた文法が、いつのまにか理解や表現を手助けしてくれる、頼りになる味方に思えてくるものです。語形変化することで文中の名詞の役割が明示され、自由な語順や精密な意味伝達が可能になる便利さを、ぜひ味わってほしいと思います。

文法とは、つまるところ、その言語を使う人々が世界をどのように見、どのように考えているかの体系に他なりません。ドイツ語を学ぶ経験が、皆さんにとって英語や日本語、そして言語というものを見つめなおすよい機会になることを期待しています。



フランス語

フランス語は、ラテン語を母胎とし、ゲルマン系のフランク族の言語の影響を受けて成立した言葉です。イタリア語やスペイン語とは姉妹の関係に当たります。

17世紀に絶対王政を築いたルイ14世以来、ヨーロッパの公用語として、各国の宮廷やサロンで話されてきました。18世紀には啓蒙思想を、フランス革命以降は自由主義思想を広く世界に伝えてきました。

現在でも芸術や思想、ファッションの発信手段となるだけでなく国連などの国際機関の公用語となっています。フランス語が話されるのはフランスだけではなく、ベルギー、スイス、モナコ、ルクセンブルクなどのヨーロッパ圏に加えて、カナダ、アフリカ諸国でもフランス語が使われています。さらに、カリブ海、インド洋の島々といった地域をあげることができます。こうした広い地域圏の中で話されるフランス語とは、どんな言葉なのでしょう。

これまで外国語というと、英語を中心に学習してきた耳には、その発音は新鮮なものとして響くでしょう。鼻母音をはじめとする発音の仕組みは英語がリズム系であるとすれば、メロディー系に属すると言えるかもしれません。また英語と比較すれば、豊かなヴァリエーションに富んだ時制表現が挙げられるでしょう。自分の置かれた状況を的確に表す言い方が、表現の中に蓄えられています。こうした特長をもつ言葉にチャレンジしながら、語りの幅を広げていくことができるでしょう。

フランス文化の基本的性格として、異文化に対する尊敬の念を挙げておきましょう。フランス人にとって、文化とは多様であることが自然な姿なのです。この姿勢から生まれる文化包容力は、他の様々な言語文化と共生しながら、交流を通じて豊かな世界を作り上げようとします。伝統文化を守りながらも、日本のマンガ文化にも目を向けたりしています。オーソドックスなシャンソンの脇で、アフリカ、アラブ社会の音楽に影響を受けた新しいサウンド、アングロ・サクソン系のロック・ミュージックとも異なるサウンドが、人々の心を捉えています。多言語のダイナミズムを生きる言葉、画一化、均質化とは無縁の言語、それがフランス語です。



中国語

中国天津市に天津飯も天津甘栗も存在しないと同じように、中国には「中国語」という表現は存在しません。中国大陸には人口の9割以上を占める漢民族を含む56の民族が暮らしており、民族ごとに言語が異なります。主として漢民族が使用している言語は「漢語」と呼ばれ、中国の標準語としての漢語は「普通話」とも呼ばれています。学校や仕事で用いられるフォーマルな言語です。これに対して、日常生活におけるインフォーマルな場面で多用されるのは、漢語の方言や各民族の言語です。ここでは普通話を実用的に中国語と呼ぶことにします。

近年、多くの国で中国語の学習者が急増しており、日本国内でも同様な傾向が見られます。ただし中には、「ほかの外国語に比べ中国語は比較的簡単だ。特に文章を読むレベルなら、日本語の漢字の知識を活用して、それほど努力しなくても大丈夫」というような甘い考えを持っている学生がいるようです。

確かに中国語はすべて漢字で書かれており、日本語と共通する語彙も存在します。しかし、音声面からみれば、中国語には音の高低を伴う4種類の声調のあることが、日本語や英語と異なります。ピンイン（中国語をローマ字で表音化したもの）が同じでも、声調が変われば漢字も意味も変わってきます。たとえば、ピンイン「shìjian」に異なる声調の組み合わせを付すと、「时间 shíjiān（時間）」「事件 shìjiàn（事件）」「实践 shíjiàn（実践）」「世间 shìjiān（世間）」など、様々な語彙が生まれます。声調を1つでも誤って発音すると、通じなくなります。

形態論の観点からみれば、膠着語に分類される日本語に対して、中国語は孤立語に分類されます。多くの言語にある「格」を表す文法標識はなく、中国語では語順で文法機能を表します。たとえば、「我看完书了(I have read a book.)」と「书我看完了(I have read the book.)」のように、英語では定冠詞と不定冠詞を用いて既知情報と未知情報を区別する用法がありますが、中国語では語順で区別することができます。

以上のように、漢字の共通性を除くと、日本語と中国語は全く異なる言語であることがわかります。安易な気持ちではなく、中国語に真剣に向き合う気持ちで、授業に臨んでもらいたいと切に願っています。





外国語紹介

ロシア語

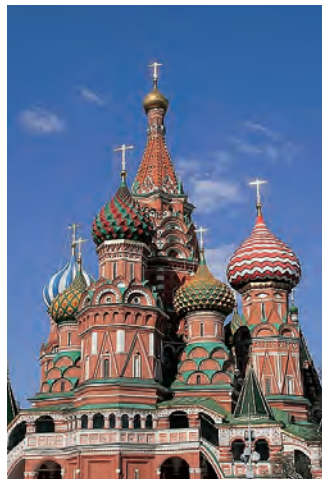
ロシアは日本の隣国です。両国間の経済的、文化的、人的な相互交流は、近年大きく進展しています。とりわけ経済面では、ロシアは新たな市場として注目され、既に多くの日本企業がロシアに進出しています。日本とロシアの間の経済協力は今後さらに深まっていくはずで、日本におけるロシア語の社会的需要は今後より高まっていくことでしょう。

また、言うまでもなく、ロシアは国際社会における最重要国のひとつです。しかも、ロシア語はロシアばかりではなく(ロシア一国だけでも十分広大ですが)、かつてソ連邦であった地域を中心に2億3000万人を超える人々によって話されています。

ロシア語というと、あの「奇妙な」文字を思い浮かべる人が多いことでしょう(もっとも、見慣れない文字だからといって、発音まで「変わっている」とは限りません。念のため…)。じつは、ロシア語の文字はギリシア文字からつくられています。これはロシアがビザンツ帝国からギリシア正教を受容したためです。他方、英語と同じ文字を使う西欧の多くの言語は、カトリック教の文化圏に属しています(東西キリスト教会の分裂については世界史で習ったでしょう)。文字にはこうした歴史的、宗教的な背景があります。だから、ロシア語を学ぶことで、カトリック教中心の西欧とは異なる宗教文化に触れることができます。

また、ロシア語では文の中での役割(主語、目的語など)によって名詞が形を変えます。人の名前も変化します。日本語には「て、に、を、は」がありますが、それとどのような機能を果たしています。こうした変化の規則は、最初のうちは厄介に感じるでしょうが、基本的な構造を身につかせさえすれば、かえってわかりやすくなるという利点もあります。

ドストエフスキーやトルストイに代表される文学、チャイコフスキーらの音楽、美しいバレエ、厳かな宗教画(イコン)、さらには、その斬新さで世界の現代芸術のさきがけとなったロシア・アヴァンギャルドなどなど、ロシアには豊かな文化があります。ロシア語を学ぶことで、こうしたロシアの文化にもっと親しむことができます。



韓国語

韓国語は「朝鮮語」とも呼ばれ、大韓民国と朝鮮民主主義人民共和国の住民の圧倒的多数が母語とする言語です。また、中華人民共和国の朝鮮族、ロシア連邦やウズベキスタン、カザフスタンなどの高麗人、日本の在日コリアンなどによっても使用されており、8,000万人以上の話者人口を有する大言語と言えます。

韓国語には様々な地域方言があり、言語学的には大きく6つほどの方言区画に分類されますが、南北ともにその標準語は基本的にソウル方言に基づいています。

韓国語の系統は未だ不明ですが、文法構造の面では、日本語やアルタイ諸語(ツングース諸語、モンゴル諸語、チュルク諸語)と類似しています。例えば、格関係を表すのに助詞を用いたり、SOVを基本語順とするなど、その類似点は枚挙に遑がありません。いわゆる敬語の体系も日本語と同じく高度に発達していますが、概ね日本語が相対敬語であるのに対し、韓国語は絶対敬語であるなど、同じ敬語体系を有していても相違点が見られます。なお、形容詞と動詞の一義的形態論的区別がない点は、ギリヤーク語(ニヴフ語)等と共通しています。

音韻の面では、日本語と大きく異なります。母音、子音の各々が日本語のそれよりも多く、音節構造も閉音節が多く現れます。音節末には7種の子音がひとつ立ち得ます。形態音韻論的交替も激しく、これは韓国語の難しいところでもあり、面白いところでもあります。現代韓国語(ソウル方言)には高低アクセントはなく、いわゆる長母音も事実上崩壊しています。これらも日本語と異なる点です。

語彙は、その出自から、固有語、漢字語、外来語、混種語の4種の語層に分類されます。漢字語は朝鮮漢字音で読まれ、日本語の漢語と共通した語が多くあります。

文字は、「ハングル」と称される、1443年に目的意識的に作られた人工的な文字を使用しています。子音字は発音器官、母音字はいわゆる三才(天地人)を象っています。ハングルは1字母1音を原則としつつも、その字母を音節ごとに組み合わせて1文字を形成するため、音素文字としての性格と音節文字としての性格の双方を併せ持っています。漢字語については、漢字で表記することも原理的には可能ですが、現在の韓国においては、一部の人文系の学術書などを除き、漢字はほとんど用いられません。



スペイン語

スペイン語は、スペイン、中南米諸国、アメリカ合衆国など、世界中の約5億の人々によって話されている国際語で、国連の公用語のひとつにもなっています(ちなみに国連の公用語は英語・フランス語・ロシア語・中国語・アラビア語・スペイン語です)。最近では、経済、文学、美術、建築といった分野に限らず、スポーツ(特にサッカー)、音楽、料理など多くの分野で、スペイン語圏に対する関心が高まってきています。このようなスペイン語圏の文化・社会に対する興味を真の意味での「教養」に変えるためには、何よりもスペイン語を始めてみるのが一番です。

スペイン語は古代ローマ帝国で話されていたラテン語が変化してできた言語です。このようにラテン語を母体とした言語には、他にフランス語、イタリア語、ポルトガル語、ルーマニア語などがあります。これらは同じラテン語から生まれたいわば姉妹言語ですから、スペイン語を学習すればフランス語やイタリア語などにアプローチすることも容易になります。以下、初めてスペイン語に触れる人にとってそのアウトラインを紹介してみましょう。

まず、文字は基本的には英語と同じです。発音は、一般に、日本語を母語にする人にとっては簡単だと言われています。それは、スペイン語の音が日本語と同じく母音と子音の組み合わせからなっていること、しかも母音の数が日本語と同じく5つだけで、ほとんどローマ字読みでOKなことによります。

文法は、英語しか知らない人から見ると、冠詞や形容詞さらに動詞の形が変わり、最初は複雑に感じられるかもしれませんが、この複雑さも最初の数ヶ月を克服さえすれば、まったく異なったものにみえてきます。それまでバラバラに覚えてきた事柄がピタッと収まるべきところに取り、スペイン語の美しい規則性がその姿を現してくるからです。このスペイン語の美に触れるには努力が必要ですが、外国語学習に楽な道などないのは、みなさんよくご承知のことと思います。ぜひこの機会に大学生らしい実りある努力に挑戦してみてはいかがでしょうか。



その他の外国語

九州大学では以下の外国語も履修することができます。ただし、これらの外国語は卒業に最低限必要とされる言語文化科目の単位の中には含まれません。詳しいことは入学式で配付される『令和2年度基幹教育履修要項』ならびに『令和2年度基幹教育全学教育科目時間割／ガイドブック』に出ていますので、参照してください。

インドネシア語

インドネシア語は、大小1万7千以上の島々からなるインドネシア共和国の様々な民族集団を結びつける言語です。表示はアルファベットで、発音はローマ字読みすれば通じる上、文法も柔軟ですので、日本人にとっては非常に習得しやすい言語です。

イタリア語

イタリア語はラテン語を母体とし、文化や芸術において歴史的に偉大な遺産を残してきました。今では日本にも、美術を始め、料理、ファッションに至るまで、イタリアのものが溢れています。日本語に発音が似て親しみやすいイタリア語は、古に花開き今に伝わる豊潤な文化のみならず、現代を彩る様々な要素により近づく鍵と言えるでしょう。

オランダ語

オランダ語は、オランダやベルギーなどで話されている言語で、英語やドイツ語によく似ています。一見日本人には馴染みのない言語のように思えますが、例えば、みなさんがよく知っているハウステンボスはオランダ語です。

エスペラント

エスペラントは1887年にポーランドの眼科医ザメンホフ博士によって作られた人工国際語です。人工語なので不規則変化や例外はなく、とても学びやすい言語です。エスペラントの学習者・使用者は地球上のあらゆるところにいます。

古典語

古典ギリシア語

ヨーロッパ思想の源流を語った言語、それが古典ギリシア語です。九州大学では「言語文化古典語科目」として開講されています。

ラテン語

ラテン語は、古代ローマ帝国のみならず中世から近世に至るまでヨーロッパの学問の共通語として用いられた言語です。九州大学では「言語文化古典語科目」として開講されています。



SALCのご案内

九州大学・伊都キャンパスのSelf-Access Learning Center(SALC:センター1号館1階)は、正課の授業外での自主的な英語学習をサポートするための場所です。英語学習相談、英会話、TOEFLやIELTSなどの試験対策、英語の雑誌、書籍の閲覧などのサポートを提供しています。また、学内外の各種留学・研修プログラムに関する情報を常時提供し、留学相談に応じています。

さらに、SALCは、留学生と日本人が交流するコモン・エリアとして、学内での異文化交流、ならびに九州大学の国際化の促進に貢献することを目指しています。専門スタッフ、学習サポーター(留学生の大学院生)は、イギリス・ペルー・インドネシア・中国・マレーシア・モンゴルなど、世界各国から集まっており、みなフレンドリーで、多くの利用者がリラックスした雰囲気の中で、自分の興味に応じた英語学習を楽しんでいます。外国に行かずとも、ここSALCに来て、異なる文化的背景を持つ留学生と交流し、日本人同士の交流では得られない国際的感覚を磨くことができます。それは、自国の文化や価値観、あるいは自分自身をも客観的に見つめ直す貴重な機会となることでしょう。

その他、学期中の昼休みの時間帯には、曜日毎に英語以外の言語で留学生と交流ができる各国語のランゲージテーブル(韓国語・中国語・スペイン語・日本語)を開催し、夕方17:00以降の時間帯にはムービーナイト、トリビアナイト、Book Discussion、Pictionary(お絵かき連想ゲーム)など多様なテーマで身近に英語に触れられるような各種イベントを開催しています。

利用者の中にはSALCに日々通う中で英語の力をつけて留学の夢をかなえた人たちもいます。SALCに来ればそんな留学経験者の話も聞けます。あなたもぜひ一度SALCをのぞいてみて下さい。待っています!

▼SALC's Website ~SALCについてもっと知ろう!~

<http://www.artsci.kyushu-u.ac.jp/~salc/>

▼SALC's Facebook

~近日開催イベント・ニュースをチェックしよう!~

アカウント: SALC at Kyushu University



ランゲージ・テーブル

学内の異文化交流の場として、学生有志により、英語、中国語、韓国語などのランゲージ・テーブル(昼休みにランチを持ち寄って、留学生と気軽におしゃべりをする交流会)が定期的で開催されています。学習言語を実際に使っ

てみたり、母語話者の友人を作ったりできる、大変貴重な機会です。詳細は、国際部とSALCのHPをご覧ください。

気遣いの道具としての第二外国語

基幹教育院 准教授 金山 浩司

このパンフレットには、専門家の先生方が力を入れて書いた各外国語の紹介文があります。各種言語の特徴と魅力がよく分かると思います。それでもみなさんには、もしかすると根本的な疑問が残るかもしれません。そもそも、ほかならぬ新入生の私(つまりこれを読んでいるあなた)が、なぜ英語以外の外国語を学ばねばならないのか、ほかにもっとやるべきことがあるのではないか、九州大学はなぜわざわざ必修科目として第二言語を課すのか、そんな疑問です。

それに対して、もろもろの外国語を学ぶ意義はあなたにもある、大学生活の中で、単位をとれる程度に付き合っサヨナラすればそれでいいものではない、と私は考えています。どういふことが、以下述べさせていただきます。

外国語が商売道具として役立つことはあります。私自身、ソ連の歴史(正確にはその中でも科学史)を研究して大学教員になっているので、私にとってはロシア語がそうした商売道具のようなものですが、これはいくらなんでもレア・ケースです。皆さんの中には英語圏以外の文化・経済等にかかわっていきたくいと腹を決めている人もいるかもしれませんが、そのような人もごく一部でしょう(あなたがもしそういう人でしたら、素晴らしいです。ぜひ頑張って第二外国語をマスターしてください)。そういう話はとりあえず置きます。それ以外の人が多数を占めるわけですが、多数派の人たちに訴えたいことが、二つあります。

ひとつは、英語以外の外国語を学ぶことは、事実上、この世界で相対的に弱い立場に立たされている人たちの声に耳を傾け、そうした人々に寄り添うことにつながるということです。皆さんは自分で思っている以上に英語ができます。今後も、平均的日本人よりはずっとできるまま、人生を送っていくでしょう。それは皆さんが、より強い武器を手に入れており相対的強者の立場に立っている、立ち続けるということです。日本語を理解しない人々とコミュニケーションできます。英語で書かれた文献にアクセスし、読み解くことができます。世界中どこでも、こうした意味で英語は有用で、だからこそ、英語圏以外のどこの国であれ、英語で話せ、英語で発信でき、英語を読みこなせるのは、一般的に言って、社会的・経済的強者であることが多いのです。裏を返せば、理解できる外国語が英語だけだと、こうした相対的強者以外の人々が何を考え、何を感じ、何を訴えたいのか、十全には把握できないということだ

す。英語が流ちょうに話せる・読みこなせる上流層とばかり交流するのは、楽しいことも、自尊心を満足させてくれることもありましようが、多くの人々の文化・感情・要求を等閑視することにつながりかねません。

もちろん、第二外国語を多少学んだところで、英語と同程度の交流能力が身につくとは私も思いません。ただ、英語で発信したくともできない人々への配慮・気遣いの感覚が、多少なりとも身につくことは間違いないところです。

もうひとつには、こちらは必ずしも弱者とは限りませんが、英語圏のやりかたというか、主として英語で交流発信されるグローバルスタンダードのやりかたに納得がいかず、オルタナティブ(もう一つの途)を模索する人は、少なからずいるということです。手前味噌になりますが、かつてはソ連という国が全体としてそうした道を模索しました。その結果、極端な例を言うと、一時期、ソ連の優れた数学者や物理学者たちがあまり英語で論文を書いてくれない(書けない?)ので、外国の理系研究者たちもロシア語学習を余儀なくされたことがあります。現在でも、ここまで強力な国家の形に委託せずとも、オルタナティブを訴える声はそこかしこにあり、でもそれは英語によるアンテナには引っかけられないことが多いのです。こうした反逆ないし異議申し立ての途が正しいかどうかは、ここでは議論しません。でも、そうした人々や潮流の存在を認識しているかどうか、それだけでも、世界の見え方が大きく変わってくることは間違いないところです。

要は、複数の外国語を学ぶことは、この世界に対してより注意深く、より気を遣い、より付和雷同しない、そうした態度を獲得することとつながっているのです。大げさに聞こえるでしょうが、これは真のエリートの途に近づくことでもあります。そうした、全般的な生き方の問題として、第二外国語学習をとらえてみてはいかがでしょうか。



各外国語の検定・資格試験案内

	特色	試験時期	最寄りの試験場	受験料	
英語	TOEFL	英語を母語としない留学希望者の英語力をみるテスト。従来ペーパーによる試験であったが、最近インターネットを用いたTOEFL Internet-Based Testのみになった。(http://www.ets.org/toefl)を参照。TOEFL Internet-Based Test (iBT:最高120点)	iBT 年間30~40日(主に土日)ただし、12日に一度しか受験できない。	iBT 福岡	US\$235
	TOEIC	国際コミュニケーション(主にビジネス)の場で必要とされる英語能力を測るテスト。最高990点。(http://www.toeic.or.jp/toeic)を参照。	年10回、1、3、4、5、6、7、9、10、11、12月。なお、受験地により年間の試験実施回数異なるので注意。	福岡、北九州等	5,830円
	実用英語技能検定(英検)	1級から5級までであるが、九大生は準1級以上を目指したい。詳細は(http://www.eiken.or.jp)を参照のこと。	6月、10月、1月(なお、2次試験はそれぞれ翌月)	福岡等	9,500円(1級) 7,600円(準1級)
	IELTS	ブリティッシュ・カウンシルなどが主催する英語力の試験で、英、豪、加などの大学等で利用されている。(http://www.britishcouncil.org/jp/japan-exams-ielts.htm)を参照。	全国18会場ですべて実施(福岡では月1回程度)	福岡等	25,380円
ドイツ語	ドイツ語検定試験(独検)	1級から5級まで。ちなみに、4級は九大の1年次の11月までには学習済みの範囲。普通に授業に出ていれば、合格ライン(例年60点前後)より10点くらい上で合格できる。3級は2年次の6月までに学習済みの範囲。詳細は(http://www.dokken.or.jp)を参照のこと。	6月、12月	福岡	4,500円(4級) 6,500円(3級)
	ドイツ語検定試験(政府公認)	国際的に通用するドイツ語の検定試験で、世界の約130の機関で実施されている。1年間学習すれば初級は十分合格できる。詳細は(http://www.flc.kyushu-u.ac.jp/~de/oesd)を参照のこと。	7月、2月	九大(伊都)	10,000円(A1) 11,000円(A2) 14,000円(B1)
フランス語	フランス語検定試験(国民教育省認定)	A1、A2、B1、B2の段階があり学習時間80時間でA1というのが一応の目安・年2回試験。福岡でも受験できる。詳細は(http://www.delfdalf.jp/を参照のこと。	5~6月、10~11月	福岡	9,900円(A1) 11,000円(A2) 13,000円(B1) 15,000円(B2)
	フランス語検定試験(実用フランス語)	1級、準1級、2級、準2級、3級、4級、5級。大学2年程度では、3、4級あたりが目安になると思われる。詳細は(http://apefdapf.org/を参照のこと。	春季6月(2次試験は7月) 秋季11月(2次試験は1月)	福岡	6,000円(3級) 5,000円(4級) 4,000円(5級)
中国語	TECC中国語能力検定	英語のTOEICに相当。初級者から上級者の能力を1種類のテストで測定する。TOEICと同様に、スコアで実力を判定する。新たに初心者用のB-TECCも設定された。(http://www.tecc.jp.com/を参照。	6、12月	福岡	2,700~6,300円
	HSK漢語水平考試	英語のTOEFLに相当し、中国留学の資格として使える。筆記1~6級、口試(初級・中級・高級)のレベル別に受験する。(http://www.hskj.jp/を参照。	3、6、7、9、10、12月	福岡	3,672~9,504円
	中国語検定試験	英語の英検に相当。級ごとに異なる問題を受検し、合否が判定される。詳細は(http://www.chuken.gr.jp)を参照。	3月、6月、11月の年3回	福岡	3,000~8,500円
ロシア語	ロシア語能力検定	1級から4級まで。2年生ならば3,4級は合格できる。	1、2級は10月 3、4級は5月、10月	福岡	5,000円(4級) 6,000円(3級) 7,000円(1、2級)
	ロシア語検定試験(PKI)	入門、基礎、第1、2、3、4、の6段階。1998年から外国人を対象としてロシア連邦教育省がおこなっている検定試験。2年生ならば、入門・基礎は合格できる。	8月	東京	22,000円(入門・基礎、第1) 24,000円(第2、第3、第4)
韓国語(朝鮮語)	韓国語能力試験	TOPIK I・TOPIK IIの2つから選択。詳細は(http://www.kref.or.jp/examination)を参照。	4月、7月、10月	福岡	個人受験: 3,500円(TOPIK I) 4,000円(TOPIK II)
	ハングル能力検定試験	1級から5級まで。(準2級あり)詳細は(http://www.hangul.or.jp/を参照。	6月、11月	福岡	3,200円(5級)~ 10,000円(1級)
スペイン語	スペイン語検定試験(文部省認定)	1級から6級まで。九大生が1年間スペイン語を学習した場合、4級から6級までの受験が可能。詳細は(http://www.casa-esp.com/link-examen.html)を参照。	春季6月(2次試験は7月) 秋季10月(2次試験は12月) ただし、2次試験(面接形式)は1級から3級のみ。	福岡	4,000円(4級) 4,000円(5級) 3,000円(6級)
	DELE(文部省認定)	A1・A2・B1・B2・C1・C2の6段階からなっていますが、九州大学でスペイン語を履修した場合、A1・A2レベルまでの受験が可能。詳細は(http://dele.jp/を参照。	5月、11月の年2回	福岡(5月) 広島(11月)	A1 8,960円 A2 11,000円

※ 最新の情報に関しては各ウェブサイト参照して下さい。

九州大学が大学間の交換留学協定を結んでいる海外の大学一覧

各大学の学期、必要な語学、正式申請時に必要な書類、学内選考後の申請時期等を見たい場合は「九大生向け海外留学情報」を参照。
<http://www.isc.kyushu-u.ac.jp/intlweb/agreeview/agree-list3.php>

国名	大学名	96年～19年の派遣実績	備考
インドネシア	ガジャマダ大学	4	古都ジョグジャカルタに位置し、1949年に創立されたインドネシアを代表する総合大学。
韓国	梨花女子大学	21	ミッション系有名難関大学。女子大としては世界最大規模。
	江原大学	1	韓国の地方国立大学中最も規模が大きい総合大学。
	慶熙大学	9	韓国私立大学中の有力校。
	慶北大学	11	大邱市に位置する国立の有力総合大学。
	高麗大学	15	韓国トップレベルの私立大学。その教育および研究の質に対する評価は、韓国内外を問わず極めて高い。
	ソウル大学	46	韓国第一の難関校。
	西江大学	15	韓国主要日刊新聞中央日報社による大学ランキング研究部門で全国第6位。
	成均館大学	2	近年躍進ぶりが顕著な韓国有数の私立総合大学。
	済州大学	9	済州島に位置する国立の総合大学。
	中央大学	1	韓国の私立総合大学で、ソウルと京畿道安城市にキャンパスがある。
	忠南大学	5	韓国国立大学中の有力校。
	全南大学	2	光州の有力大学。工学部は韓国文部省からも高い評価を受けている。
	東亜大学	15	釜山に位置する有名私立大学。
	東国大学	5	100年の歴史を持つ仏教系の私立総合大学。
	釜山大学	13	韓国主要日刊新聞中央日報社による大学ランキング研究部門で全国第4位。
延世大学	15	各種国家試験の合格者数が全国第3位の有力校。	
シンガポール	シンガポール国立大学	43	シンガポール第一の最難関校。
	シンガポールマネジメント大学	7	会計、ビジネス、経済学・社会学、情報システムの4学部を有し、ペンシルバニア大学ビジネススクールより多数の教員を招いている。
タイ	タマサート大学	14	チュラロンコン大学と並ぶ難関の総合大学。
	チュラロンコン大学	2	タイで最も古い歴史を持つ最難関の総合大学。
	マヒドン大学	17	タイの超難関校。医歯系は特に評価が高い。
台湾	国立台湾大学	15	台湾第一の最難関校。
中国	上海交通大学	13	上海の超難関校。元中国国家主席江沢民の母校。
	清華大学	9	北京大学と並ぶ中国のトップ大学。理工系は北京大学を凌ぐ。
	浙江大学	4	総合大学中トップ5に入る有力校。
	中国人民大学	7	社会、人文、経済、管理科学を主とした中国の重点大学。官僚を多数輩出している。
	同済大学	4	上海市の北部にある国家重点大学。1907年に創立された医学校が起源。理工系は特に有名。
	東北師範大学	1	「勤奮創業、為人師表」(勤め励んで事業を創始し、人の師表となる)を校是とし、17の学院(学部)、40の専業(専攻)、及び大学院を有する教員養成系の総合大学。
	南開大学	1	天津市南開区にある総合大学で重点大学の一つ。周恩来の母校として有名。
	南京大学	9	総合大学中トップ10に入る有力校。



国名	大学名	96年～19年の派遣実績	備考
中国	復旦大学	19	上海の超難関校。
	北京大学	11	1898年設立以降、中国の学問の中心の一つとして中国中に名を知られる国家重点大学である。
	北京航空航天大学	1	中国で最初の航空工学と宇宙工学を中心とした工科系の強い総合大学。
	香港大学	15	香港における大学の双璧をなす難関校。授業はほとんど英語で行われる。
	香港中文大学	22	香港において、香港大学と双璧をなす難関校。
フィリピン	アテネオ デ マニラ大学	7	フィリピンのミッション系有力大学。
	フィリピン大学	5	フィリピン随一の最難関総合大学。
ベトナム	ベトナム国家大学ハノイ校	1	
マレーシア	マラヤ大学	1	マレーシア最初の大学。首都クアラルンプールの南西に位置し、マレーシア最高学府として知られている。
オーストラリア	オーストラリア国立大学	2	
	クィーンズランド大学	18	オーストラリアにおける1998年度University of the Yearに選出された有力校。
	シドニー工科大学	3	シドニー工科大学は、オーストラリアニューサウスウェールズ州シドニーにある公立の総合大学である。大学として唯一、シドニー中心部にメインキャンパスを構える。
アメリカ	アリゾナ州立大学	12	いずれも、アメリカで発行されている学生向け大学情報冊子「Profiles of American Colleges」に掲載の大学ランキング中、Most Competitive / Highly Competitive / Very Competitiveにランクされている難関校。
	イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校	4	
	ヴァージニア工科大学	1	
	ウイスコンシン大学マディソン校工学部	4	
	北アリゾナ大学	12	
	グローブシティカレッジ	4	
	ケンヨン大学	4	
	サンノゼ州立大学	15	
	ジョージア大学★	40	
	ベレア大学	23	
	ミシガン大学	39	
	ライス大学	14	
ワシントン大学	35		
チリ	チリカトリック大学	2	日本との学生交流も盛んな南米を代表する総合大学。
メキシコ	メキシコ国立自治大学	3	中南米一の規模と学術水準を持つ総合大学。
アイスランド	アイスランド大学	5	1911年創立以来、国立大学として国内の教育水準の維持に努め、国家発展の中心的な役割を担ってきた。
イギリス	シェフィールド大学	16	19世紀に創設の難関校。伝統的に工学分野に強い。ノーベル賞受賞者を4人輩出。
	ニューカッスル大学	12	イギリス北東部に位置し、教育の質の高さで有名。イギリス国内の著名な17の研究機関の集まりであるラッセル・グループのうちの1校。
	バーミンガム大学	3	イギリスをリードする12大学の1つ。
	ブリストル大学	19	トップレベルの大学で、入学難易度では、オックスフォード、ケンブリッジに次ぐ難関校。
	リーズ大学	8	
	ロンドン大学アジア・アフリカ学院	13	ロンドン大学のカレッジの一つ。イギリスでは唯一のアジア、アフリカ及び中近東研究を行う高等研究機関。

国名	大学名	96年～19年の派遣実績	備考
オランダ	ライデン大学	3	1575年創設のオランダ最古の国立大学。欧州でも指折りの日本研究及び日本語教育の拠点としても知られている。
スウェーデン	ウプサラ大学	32	スウェーデンで最古かつ最大の有力大学。8名のノーベル賞学者を輩出。
	スウェーデン王立工科大学	15	首都ストックホルムに1827年に創立された歴史ある伝統校で、国内6つの工科大学の中で最大規模を誇る。
	ストックホルム大学	16	ノーベル賞受賞者や実業家、政治家を多数輩出、ヨーロッパで評判の良い大学のひとつ。
ドイツ	ミュンヘン大学	40	15世紀に創立されたドイツ屈指の名門大学で、ノーベル賞受賞者も多数輩出。
	ミュンヘン工科大学	36	19世紀にバイエルン公により創設されたドイツ有数の理科系総合大学。
	ホーエンハイム大学	36	農業科学部を中核とする著名な総合大学。
	ハイデルベルク大学	5	
フランス	エクス-マルセイユ大学 (旧 エクス-マルセイユ第一大学=プロヴァンス大学)	5	1409年に設立され、人文系(15学部)および理工系(13学部)の2学群がある総合大学。
	エコール ノーマル スーペリウールパリサクレ	3	
	グルノーブル大学	5	
	国立東洋言語文化大学(INALCO)	2	
	ストラスブール大学	22	
	ボルドー大学(旧ボルドー第一、第二、第四大学)	4	分野は医学、薬学、歯学、生物学、生物化学、ワイン醸造学、人文科学、教育学。大学は10のUFR(教育研究単位)と1エンジニア専門学校、2研究所で構成されている。教官350名を擁し、留学生1,500名を含む14,000人を受け入れている。専門分野は法学、政治学、経済経営学。
	ボルドー建築景観学院	2	建築および建築景観分野のグランゼコール。
ボルドーモンテーニュ大学(旧ボルドー第三大学)	14	12のUFR(教育研究単位)と大変活発なフランス語教育センターがある。教育・研究分野は環境、国土開発、都市計画、文学、言語、美術史、考古学、情報・コミュニケーション科学。	
ベルギー	レウヴェン・カトリック大学	22	ベルギーのオランダ語圏大学における難関校。
ロシア	サンクトペテルブルク大学	5	モスクワ大学と並び、ロシアの名門大学であり、長年、ロシアの教育、文化面で多大な役割を果たし、有為の人材を多く輩出。
総計		995	

(備考) 1. 表中の大学は原則として入学金・検定料・授業料のいずれも不徴収だが、次の例外がある。

★の大学は大学院生の場合は検定料を徴収。(入学金、授業料は不徴収)

2. 留学先大学での使用言語等の詳細については、次のHPを参照ください。
<http://www.isc.kyushu-u.ac.jp/intlweb/agreeview/agree-list3.php>
3. 協定が切れている大学、派遣実績のない大学については除外。



交換留学 Q&A

九州大学では、平成8年度から学生交流協定を締結している外国の大学への学生派遣を開始し、留学を推奨しています。この制度による留学を一般に「交換留学」と呼んでいます。

交換留学には、①全学の学生を対象とした学生交流協定を締結した外国の大学への留学と②各学部・学府が独自に学生交流協定を締結した外国の大学への留学とがあります。

①については国際部留学課が、②については所属学部の学生担当係等が窓口となります。ここでは、主に①について記載をしています。

Q 交換留学とはどのようなもので、どのような大学へ留学が可能ですか？

A 学生交流協定は、在学生(休学者を除く)を1年を超えない期間、交換留学生として外国の大学へ派遣するものです。留学中は、九州大学に所要の授業料を納める必要はありますが、留学先の大学に授業料を納める必要はありません。また、留学中の宿舍などに便宜が図られることもあります。

この交換留学は、留学先大学で取得した単位および在学期間は、九州大学の卒業要件として取り扱われます。ただし、取得単位の認定については、所属学部・学府の教授会等で審査されます。

2019年までに派遣実績のある大学については前ページの表を見てください。なお、大学間及び部局間学生交流協定で留学可能な大学については国際部Webサイトに掲載しています。

《大学間/部局間学生交流協定のある協定校一覧》

<http://www.isc.kyushu-u.ac.jp/intlweb/agreeview/agree-list4.php>

Q 外国語はどれ位できたら良いですか？

A 大学間交換留学プログラムで留学希望の場合は、留学希望先大学の要求する語学スコアを取得する必要があります。

《大学間学生交流協定校 申請書等一覧》

<http://www.isc.kyushu-u.ac.jp/intlweb/agreeview/agree-list3.php>

なお、TOEFL・IELTSのスコアは2年間有効です。学内募集締切日までに留学希望先大学が要求する語学スコアをクリアしておく必要があります。

英語力を向上させるための海外研修には次のプログラム等があります。

- モナシュ英語研修:春休みの4週間研修@オーストラリア
様々なアクティビティを通して、グローバル人材の育成を目指す人気の国立7大学合同のプログラムです。
- ファースト・ステップ語学研修:夏休み/春休みの3~4週間研修@カナダ
初めて留学する九大生を対象としています。

英語以外の語学研修にはCLP-C(中国語研修)があり、選考を経て、毎年春休みに約20名程度が派遣されています。このプログラムは、大学の支援により少ない負担で研修を受けることができます。

また英語圏以外の大学では、留学希望国の言語の運用能力が要求されます(英語プログラムへの留学の場合を除く)。



注)TOEFL PBTは、2007年11月以降日本では実施されていません。

Q 学内の選考はどのように行われますか？

A 大学間交換留学生の募集は、年2回行われます。第1回目は10月に募集を行い、11月に学内選考を行います。また第2回目は翌年の4月に募集を行い、第1回目同様に学内選考を行います。また、第1回目の募集開始前に大学間交換留学説明会を開催します。日程等の詳細は各学部・学府等の学生担当係へ連絡しますので、掲示板を見逃さないようにしてください。海外留学メールマガジンに登録された方にはEメールで直接お知らせします。

面接は、留学希望先で履修する言語で行います。(非英語圏の大学で英語でも履修希望する学生には留学先使用言語+英語の2言語で面接)、「留学目的をしっかりと持ち交換留学生としてふさわしい人物か」「留学に十分な語学力があるか」などを審査します。

Q 海外留学メールマガジンをご存じですか？

A 登録すると…海外留学情報がダイレクトに配信されます。携帯メールでも受信できます。

例えば…交換留学情報、短期語学留学の情報

TOEFLに関する情報、留学生のチューター募集 etc.

- 学生ポータルシステムより、ご本人のみご登録頂けます。
ユーザIDとパスワードは、教育情報システム(履修登録などを行うシステム)と共通です。

学生ポータルシステム

「九州大学」「学生ポータル」「ログイン」で検索して下さい。九州大学HPの該当部分が見つかります。

海外留学の情報収集

留学相談窓口(国際部留学課)
Global Gateways

<http://www.isc.kyushu-u.ac.jp/intlweb/study>

を是非一度訪れてください。過去の留学生のレポートも掲載しています。また、留学情報を掲載した「留学ガイド」を発行しています。Global Gatewaysから閲覧できますので、ぜひ参考にしてください。

そのほか、英語圏の大学を目指す人は

TOEFL情報の掲載されたCIEEホームページ

<http://www.ciee.or.jp/>

IELTS情報の掲載された英検協会ホームページ

<http://www.eiken.or.jp/ielts>

も役立ちます。

日本学生支援機構(JASSO)のホームページ

<http://www.jasso.go.jp>

も参考にとなります。

イギリスで英語を学ぼう

語学研修について

以下のような研修旅行があり、九州大学の英語科目として実施します。

英語・学術研修

研修先 英国ケンブリッジ大学ペンブローカレッジ



期 間

事前研修 11月～8月

現地研修 8月下旬～9月中旬の3週間強

人 数

24～30名

研修内容

原則として、学寮に滞在しながらペンブローカレッジが提供する英語集中コースと講義科目(自然科学、人文科学から選択)を中心に、晩餐会など各種イベントを体験。週末は独力で準備した自由旅行。

説明会・その他

2020年夏現地研修の参加者は既に決定済み。2021年夏の参加申込みについては英語授業でチラシを配布。説明会ではできる限り参加して下さい(日程は下記HPにて発表します)。

または右記参照。 <http://yubunsuzuki.com/concept.html>

一年半の言語学習を通じた経験

私が中国語の学習を始めたのは大学に入学してからのことです。一年生の後期に集中講義の外国語プレゼンテーションコンテストに出場し、春休みには台湾への三週間の短期留学プログラムに参加しました。二年生の6月には学外で開かれた中国語スピーチコンテストに参加し、先生方の非常に熱心なご指導のもと繰り返し練習を行ったことで、九州地域の予選では準優勝をいただき、全国大会への出場ができませんでした。さらに東京でおこなわれた全国大会では、光栄にも特別優秀賞、一等賞に次ぐ二等賞を獲得することができました。

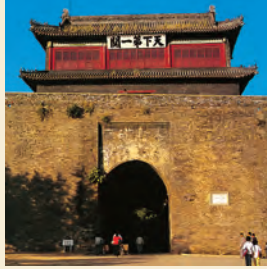
この全国大会の出場者は全員が中国大使館から中国への一週間の研修旅行に招待され、様々な名所を見学して回りました。中国はとにかく広大です。経済都市である上海のような巨大な大都会もあれば、世界遺産である黄山のような雄大な大自然もあります。広大な中国の多様な地域や物事を見聞することで、自分の見識が広まったことを感じました。参加者は全国大会の出場者ということで、全国各地から高いレベルで中国語を学習している学生が集まっていました。その中には中国人の方と

文学部2年 山西 慶哉
も流暢に会話ができるような学生も多くおり、非常に刺激を与えられた旅行となりました。

ここ九州大学には多くの留学生がおり、交流できる場もたくさん設けられています。そのような交流や様々な大会への積極的な参加、それを通じた先生方や留学生の方々とのつながりが、私の中国語の能力と意欲を向上させていると感じています。これらの出来事はすべて、中国語を始めて一年半の間に経験したことです。この経験は、積極、継続、何より楽しく学習してきたからこそできたものであると思っています。新入生の皆さんも新たな言語の学習をとおして、楽しい経験をたくさん積んでください。



(九州予選の表彰式
左が山西さん)



九州大学大学院言語文化研究院

Faculty of Languages and Cultures, Kyushu University

genbun@flc.kyushu-u.ac.jp

<http://www.flc.kyushu-u.ac.jp>

編集：九州大学大学院言語文化研究院 広報委員会

2020年3月 発行